詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

12月

令和6年(2024年)第48週　2024年11月25日(月)～2024年12月1日(日)

熊本市　感染症発生動向調査　速報

季節性インフルエンザの流行に備えましょう

季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡がります。
日本では、例年12月～3月が流行シーズンです。令和５年は、例年より早く本格的な流行が生じ、12月に流行シーズンのピークを迎えました。

外出後の手洗い等

流水・石鹸による手洗いは手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法です。アルコール製剤による手指衛生も効果があります。

適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下するため、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことも効果的です。

十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

室内ではこまめに換気をする

一般家庭でも、建物に組み込まれている常時換気設備や台所・洗面所の換気扇により、室温を大きく変動させることなく換気を行うことができます。

人混み等の混雑する場所への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特にご高齢の方や基礎疾患のある方、妊婦、体調の悪い方、睡眠不足の方は、人混み等の混雑する場所への外出を控えましょう。やむを得ず人混みに入る可能性がある場合には、ある程度、飛沫感染等を防ぐことができる不織布製マスクを着用することは一つの防御策と考えられます。

定点種別	疾患名	状況	47週(11/18～11/24)		48週(11/25～12/1)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ／COVID-19	インフルエンザ	－	31	1.24	72	2.88
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		38	1.52	33	1.32
小児科	RSウイルス感染症		0	0.00	1	0.06
	咽頭結膜熱(プール熱)	－	3	0.19	4	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	－	51	3.19	71	4.44
	感染性胃腸炎	－	53	3.31	82	5.13
	水痘(みずぼうそう)	－	5	0.31	5	0.31
	手足口病	○	93	5.81	92	5.75
	伝染性紅斑(りんご病)	－	3	0.19	7	0.44
	突発性発しん		12	0.75	12	0.75
	ヘルパンギーナ	－	1	0.06	2	0.13
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	－	0	0.00	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	－	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	－	9	1.80	10	2.00
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		25	5.00	9	1.80
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○：警報レベル　△：注意報レベル　－：警報・注意報レベルなし